

地域と学校の 協働通信

令和 6 年 3 月 29 日
武蔵野市教育委員会
指導課教育推進室
第 17 号

特 集

- モデル校 1 年目の取組が終了しました
- 令和 5 年度のモデル校の実践を振り返って

境南小・第一中 モデル校 1 年目の取組が終了しました 今年度最終回の様子をお伝えします！！

第一中学校 第 8 回協議会

令和 6 年度第 1 回は
4 / 15 (月) 15 時～ (予定)

前回の学校評価を受けて、校長先生から次年度の基本的な学校経営方針について説明があり、資料を基に協議と承認を行いました。「道徳の授業を見て、生徒が真剣に議論する様子がいいと思った」「生徒が地域のボランティアなど行う上で、部活動の欠席等便宜を図れないか」「このような基本方針は、先生方にどう伝えていくのか」などの意見・質問等が出された後、拍手で承認となりました。

続いて、継続してきた部活動の見守りについて、「生徒が見て『見守りの人だ』と分かる」ためのツールとして腕章・名札の紹介があり、協力してくれる人を募る書式等や始めて見守りをする人への説明の仕方等についても検討し、引き続き実施しながら改善を図っていくこととなりました。最後に次年度に向けた委員や事務局の体制について校長先生から提案があり、モデル校 2 年目への意欲を高めて終了となりました。



部活の見守りで使う腕章等を示す

境南小学校 第 8 回協議会

来年度の日程は、未定です

境南小は、次年度学校経営の基本方針の承認を前回行ったため、最終回となる今回は、懸案の検討や次年度の方向性の協議ができました。

まず、今年度取り組んでいる、「児童の『学びたい』に答える地域人材のリスト」について事務局からリストの書式が示され意見交換しました。児童や教師のニーズに応えるとともに、リストへの掲載が気軽にできるようなものにしていくために、まずは現委員が書式に従って記入して見合い、協議していこうということになりました。

また、年間の振り返りをワールドカフェ方式で行いました。「熟議」ができてよかった、子どもたちに「知識」ではなく「知恵」が身に着くようにしていきたいなど、次年度も「児童中心」で協議をしていこうという前向きな意見が出されました。



ワールドカフェ方式※での意見交換
(※リラックスした中で少人数に分かれたテーブルで自由な対話を行い、他テーブルとメンバーを交換して対話を続けることで、全員の意見・知識を交流できる対話手法の一つ)

モデル校の協議会を見学してみませんか？



令和 6 年度は、境南小・第一中のモデル校 2 年目となります。モデル校以外の学校でも、令和 7 年度の全校実施に向けて、委員や協議会の回数を増やしたり「熟議」を試行したりといった計画を立てている学校もあり、先行実施している 2 校の協議会を見学してみたいとの声もいただいています。

議事の内容によっては見学ができない場合もありますが、ご希望があれば教育推進室までご連絡ください。

～令和5年度のモデル校の実践を振り返って～



協議会が始まった時にはまだ委員の皆様にも戸惑いがあったかもしれません。しかし、こうして1年を振り返ってみると、モデル校双方でどうするのが子どもたちのためになるのかを念頭に考え、もっと議論を深めよう、知っていこうとする機運が高まってきました。特に校長先生・副校長先生と委員との関係は、より近くなったように感じます。

下記にモデル校の一年間の実践内容を記載しましたので、ぜひご覧ください。

境南小学校		第一中学校		
第1回	5/1	学校の教育目標・学校運営の基本方針の共有／「開かれ」の存在意義の確認（地域学校協働本部としての役割）／会長・副会長の選出 ※次回までに「行くのが楽しい学校とは？」の児童アンケートをとる	5/9	「一中学生のいいところや身に付けてもらいたい力／協議会でなにができるか」をテーマにグループ協議／会長・副会長の選出
第2回	6/19	熟議：児童アンケートをもとに「地域でできることは？学校でできることは？」／年間スケジュールの確認／※次回までに「行くのが楽しい学校とは？」の先生アンケートをとる	6/13	一中をもっと深く知るために、学校生活の流れを具体的に聞き、先生を交えての協議、学校の実態把握
第3回	7/24	熟議：先生アンケートをもとに「地域でできることは？」／境南フェスティバルについて／教員公募にむけて、どのような先生にきてほしいか意見交換	7/19	協議会で何ができるかの議論／先生にアンケートを取り、協議会に期待することや、地域に任せられそうなことのニーズ調査を実施
第4回	9/25	熟議：児童・先生アンケート結果をもとに、学校でできること、地域でできることを具体的に協議／教員公募の内容決定	9/12	先生の仕事のうち、部活動の見守りや各種検定事務のサポートについて地域で担えるかの検討・検証開始
第5回	10/23	12月に行う学校評価の方法の検討／学校評価項目を検討 ※次回までに各自で学校「人材バンクリスト」作成	10/13	教員公募の報告、部活動見守り等のボランティアの周知・確保や運用方法について検討
第6回	1/15	1年間の教育活動の成果と課題の共有（学校評価の結果の共有）／学校関係者評価の実施	12/8	学校評価アンケートの実施、実際に委員が部活動見守りボランティアを体験し、運用について協議
第7回	2/13	作成した学校運営の基本方針の承認	1/23	学校評価について、学力向上、人権尊重、健全な心身の育成、信頼される学校づくり等の観点ごとに意見提出
第8回	3/11	1年間の活動の振り返り、次年度の活動の検討／モデル校1年目としての課題と成果／来年度の委員選出について	3/4	学校運営の基本方針について議論・承認／部活動の見守り・各種検定事務ボランティアの仕組みについて検討

～開かれた学校づくり協議会（モデル校）運営ガイドラインを改訂しました～

指導課教育推進室では、協議会の運営が円滑に進むことを目的として、協議会委員、学校や事務局担当者など協議会に携わる方に向けて作成した「ガイドライン」を作成しており、この3月にVer. 2として内容を改訂しました。Ver. 2では、令和5年度のモデル校の実践を紹介したり、副校長先生の役割や武蔵野市の「地域学校協働活動」の定義などを改めて加えました。また、11月に実施したモデル校の検証アンケート結果についても、概要を記載しました。

関係者の皆様には配布等のご案内を順次行います。開かれた学校づくり協議会にご興味のある地域の方も、ぜひ教育推進室までお問い合わせください。